

山本大臣閣議後会見

平成25年12月20日

第14回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合

The 14th Forum for Nuclear Cooperation in Asia (FNCA) Ministerial Meeting

2013年12月19日 於 東京 三田共用会議所



FNCAとは？ What is FNCA?

- FNCAは、日本が主導して、アジア地域における原子力の平和利用のうち、放射線を使ったガン治療や稲の育種などに関する協力を行っている非常にユニークかつ重要な枠組み。
- オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナムの12カ国が参加。

開会・歓迎挨拶



政府の方針をしっかりと説明

- 安倍政権がエネルギー政策を転換し、責任あるエネルギー政策を再構築。
- 汚染水問題は政府が前面に立ち、問題の抜本的な解決に当たる。



FNCAへの期待を表明

- アジア諸国の原子力技術の平和利用のための枠組みであるFNCAを評価。
- FNCAの取組がアジア諸国の社会経済的发展と国民福祉向上に一層効果的に寄与することを期待。

円卓討議1

「FNCAプロジェクトの成果の活用」



プロジェクト成果およびFNCA自体の重要性を再確認

- 放射線利用の有益性や効用をしっかりと発信することが、FNCAのような国際的な枠組みの大きなミッションであることを強調。
- 十分に知られていないFNCAの成果について、今後は積極的にその橋渡し作業に取り組み、一層の普及・商用化に尽力すべきであることを提起。

円卓討議2 「核セキュリティ文化の醸成」



核セキュリティ文化醸成の重要性について議論

- 核セキュリティは多様な側面を持つものであり、今回大臣級会合の議題としては、チャレンジングなテーマであった。
- 日本からは、アジア地域の核セキュリティ文化醸成に向けて、日本が積極的に貢献するために、アジア地域を対象とするワークショップの開催やベストプラクティスの共有などを提案。

議長声明

1) 核セキュリティ文化の醸成

- JAEAの核不拡散・核セキュリティ総合支援センター (ISCN) を通じ、IAEAとの共催による、アジア諸国を対象とした核セキュリティ文化に関する研修を日本で実施する。
- FNCA各国における核セキュリティ文化醸成のための取組を、ISCNを通じて支援する。
- FNCAのウェブサイトを活用し、核セキュリティ文化に関する各国の取組状況や良好事例を共有する。



2) FNCAプロジェクトの成果の活用

3) 原子力平和利用とアジア地域の発展への貢献